

宮古市・黒石市姉妹都市締結 50 周年記念祝賀会を開催しました

12 月 17 日(土)、宮古市のグリーンピア三陸みやこにて、宮古市・黒石市姉妹都市締結 50 周年記念祝賀会を開催し、両市長はじめ、関係者約100名が出席しました。

祝賀会は2部構成とし、第1部では、黒石市の高樋憲市長より、「歴史的な伝説のご縁から、姉妹都市の契りを結んで半世紀が過ぎたことは、誠に感無量である。今年度は、50周年記念事業として、姉妹都市の絆がさらに両市民に浸透するような事業や、次代を担う子供たちに姉妹都市の意義をしっかりと受け継いでいくような事業を両市において実施している。50周年という大きな節目を契機とし、両市民のより一層の交流活動が図られ、今後とも末永いお付き合いができるよう期待する」とあいさつしました。

山本正徳宮古市長は、「宮古市では、姉妹都市締結 50 周年を記念して、両市にまつわる津軽石川の伝説(※)と黒石市との絆を謳った楽曲を作成した。両市の絆を歌によって、より固く結ぶとともに、この 50 周年を一つの節目として、未来に向けて、次の世代まで大切に歌い継いでいきたい。」とあいさつしました。

第2部では、牛伏郷土芸能保存会、宮古市出身の演歌歌手のみやさと奏様にご出演いただきました。牛伏郷土芸能保存会には、黒石市とつながりがある千徳地区に伝わる郷土芸能を、みやさと奏様には、オリジナル曲など計4曲を披露していただきました。



津軽石小学校5・6年生、宮古高校音楽部、
木曜会合唱団 総勢100名による記念曲大合唱



これからの末永い交流を約束しました。

(左から、花坂宮古商工会議所会頭、前川宮古市議会議員長、
山本宮古市長、高樋黒石市長、北山黒石市議会議員長、
新岡黒石商工会議所会頭)



牛伏郷土芸能保存会



みやさと奏 様

12月18日(日)は、黒石市の皆様に、宮古鮭まつりに参加していただきました。

宮水太鼓の演奏で始まった鮭まつり。今年は、天候にも恵まれ、朝から多くの来場者でにぎわっていました。黒石市の皆様には、鮭のつかみ捕りを体験していただき、生きの良い鼻曲がり鮭を一生懸命追いかけていました。

また、山本正徳宮古市長と高樋憲黒石市長により、津軽石川の伝説再現セレモニーを実施。

黒石市の^{あせいしがわ}浅瀬石川からお持ちいただいた石が、弘法大師に扮する高樋黒石市長から、村人に扮する山本宮古市長へ手渡され、津軽の石は、これからの両市の繁栄と鮭の豊漁という願いを込めて、青空のもと、大切に津軽石川に投入されました。



浅瀬石川の石が高樋黒石市長から山本宮古市長へ



津軽の石は、津軽石川に大切に投入されました

※津軽石川の伝説…南部鼻曲鮭の本場になっている津軽石川の鮭漁は、昔、^{こうぼうだいし}弘法大師が青森からの帰途、今の黒石を流れる^{あせいしがわ}浅瀬石川の石を持ってきて、津軽石川に投げ込んでから鮭の遡上が始まったと言われています。(諸説あり)